

「社会起業家育成コース」

受講生募集



特定非営利活動法人グラウンドワーク三島は、静岡県三島市の水辺自然環境の再生と改善を目的として1992年に活動を開始し、現在までに三島市内60か所以上において、住民参加による多様なまちづくりプロジェクトを展開してきました。

この度、グラウンドワーク三島は、人材育成・就業支援を目的とした、三島市「地域人づくり事業」による、「社会起業家育成コース」を開講します。

近年、自らの知識や技能、アイデアを活かし、ビジネスの手法により社会的課題の解決に取り組む「社会的企業」（ソーシャルビジネス）が注目されています。

今回の「社会起業家育成コース」では、自分のまちや地域に新たに会社や社会的企業の起業を目指す人や、先進的な知識を学びたい人を対象として、ソーシャルビジネスの理念や基礎知識を学んでいただくとともに、実効性の高い事業プランを作成するスキルや実践的なマネジメント力、ビジネス力の習得に関わる専門的な知識を身につけていただきます。

福祉・教育・環境・労働・海外支援などといった、複雑化・多様化する社会的課題解決へのニーズが非常に高まっています。事業性を確保しながら、これらを解決していく「社会起業家」を目指している方や、その知識を学びたい方の積極的な参加をお待ちしております。



三島市地域人づくり事業
市民活力活用推進事業（地域リーダー・起業家育成事業）

社会起業家育成コース

主催：NPO 法人 グラウンドワーク三島

応募用紙

申込日 平成 26 年 月 日

フリガナ			
氏名			
生年月日	19 年 月 日	性別	男 ・ 女
所属			
現住所	〒		
電話番号（自宅）		電話番号（携帯）	
E-mail（パソコン）			
E-mail（携帯）			
緊急連絡先氏名			
緊急連絡先住所	〒		
続柄		緊急連絡先電話番号	

三島市地域人づくり事業
市民活力活用推進事業（地域リーダー・起業家育成事業）

社会起業家育成コース

主催：NPO 法人 グラウンドワーク三島

【募集対象者】

失業者、求職中の方、起業を考えている方、NPO やボランティア関係者、大学生や高校生など 18 歳以上の若者、女性（専業主婦の方も歓迎）、シニア層 など

【実施日】

平成 26 年 11 月 22 日（土）～11 月 26 日（水）（5 日間） 9:30～16:00

*原則、全日程ご参加いただける人を優先いたしますが、やむを得ない事情で欠席の場合は、平成 27 年 2 月実施予定の補講にご参加いただきます。

【会場】

三島市民文化会館 第 1・2 会議室（三島市一番町 2-29、JR 三島駅南口より徒歩 3 分）

【人数】

30 名程度 （定員に達し次第締め切ります。）

【研修費用】

受講料・資料代・視察代・研修中移動費は無料
（宿泊費・旅費・交通費・飲食費などは自己負担）

【応募方法】

添付応募用紙を、FAX（055-973-0022）またはメール（info@gwmishima.jp）にてグラウンドワーク三島事務局（担当：オガタ、美和）にお申込みください。



【研修カリキュラム・スケジュール】

<p>1日目 11/22 (土)</p>	<p>9:15～9:30 集合・受付</p> <p>9:30～10:00 オリエンテーション、自己紹介、アイスブレーキング</p> <p>10:00～11:00 講義「NPO・社会的企業概論」 国内外の先進的なNPOや社会的企業の実践事例、マネジメント・ビジネスの基礎知識を学ぶ。</p> <p>11:00～12:00 講義「グラウンドワーク三島のコミュニティ・ビジネスの実践とノウハウ」 コミュニティ・ビジネスによりもうかる・かせぐNPOとまちをつくる。</p> <p>12:00～13:00 昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング）</p> <p>13:00～15:00 視察「グラウンドワーク三島のコミュニティ・ビジネスの視察と体験学習」 *空き店舗活用ビジネス（三島街中カフェ） *農業再生ビジネス（箱根西麓） *環境資源活用ビジネス（エコツアー）</p> <p>15:00～16:00 演習「質疑応答、ディスカッション」 《講師（終日）：グラウンドワーク三島専務理事／都留文科大学教授 渡辺豊博》</p> <p>16:30～ 自由参加まちづくりせせらぎ談義・交流会（会費制）</p>
<p>2日目 11/23 (日)</p>	<p>9:30～11:30 講義「被災地のまちを元気に・社会的起業家のアイデアと革新性を学ぶ①」 被災地の各所で活躍し、まちづくりを先導している起業家を紹介</p> <p>11:30～12:30 演習「質疑応答、ディスカッション」 《講師（午前）：石巻専修大学准教授 李東勲》</p> <p>12:30～13:30 昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング）</p> <p>13:30～15:30 講義「まちの元気を再生・社会的起業家のアイデアと革新性を学ぶ②」 未利用の地域資源・人財を再生活用・葉っぱビジネスの創業 《講師（午後）：徳島県上勝町元町長 笠松和市》</p> <p>15:30～16:00 演習「質疑応答、ディスカッション」</p>
<p>3日目 11/24 (月)</p>	<p>9:30～11:00 講義「社会的企業の役割とは」 社会的企業の目的、使命、概念、現状を踏まえて、その役割と意義、課題、可能性、発展性などを学ぶ。</p> <p>11:00～12:30 講義「社会的企業を立ち上げよう①」（資金・人材・情報収集編） 資金調達や仲間・情報を集めるための具体的な手法を学ぶ。</p> <p>12:30～13:30 昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング）</p> <p>13:30～15:00 講義「社会的企業を立ち上げよう②」（事業計画・広報・販売編） 事業計画、予算計画の立て方、広報、販売、マーケティング、補助金獲得、起業のリスクなどを学ぶ。</p> <p>15:00～16:00 演習「質疑応答、ディスカッション」 《講師（終日）：早稲田大学公開講座講師／総務省「シニア地域人づくり」講師／グラウンドワーク三島起業アドバイザー 前川卓三》</p>

4 日目 11/25 (火)	9:30~12:00	演習「ビジネスプラン作成・ワークショップ①」 現在までに学習した多様な知識を活用し、自分が起業・創業したいと考えている事業を前提として開業・営業・管理運営していくためのビジネスプランを具体的に作成する。
	12:00~13:00 13:00~16:00	昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング） 演習「ビジネスプラン作成・ワークショップ②」 《講師（終日）：早稲田大学公開講座講師／総務省「シニア地域人づくり」講師／グラウンドワーク三島起業アドバイザー 前川卓三》
5 日目 11/26 (水)	9:30~12:00	演習「ビジネスプランのまとめ・プレゼンテーションの準備」
	12:00~13:00 13:00~15:00 15:00~16:00	昼食休憩 演習「ビジネスプランのプレゼンテーション・発表」 講義「講評とメッセージ」「研修のまとめ」「修了書贈呈」 《講師（終日）：グラウンドワーク三島専務理事／都留文科大学教授 渡辺豊博、早稲田大学公開講座講師／総務省「シニア地域人づくり」講師／グラウンドワーク三島起業アドバイザー 前川卓三》

✚ グラウンドワーク三島とは？

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島は、英国で始まったグラウンドワークを全国に先駆けて導入し、市民・NPO・企業・行政とのパートナーシップによる多様な環境まちづくり活動を通して、実践的な環境教育、環境再生、地域再生、農業再生、コミュニティビジネスなどの現場モデルを創りあげてきました。

平成 22~24 年には、これらの「現場モデル」を全国へ普及、発展させるために、内閣府による地域社会雇用創造事業の一環として、「グラウンドワーク・インターンシップ」を実施し、元気な NPO や社会的企業の担い手 2,500 名以上を育成しました。さらに、「グラウンドワーク・インキュベーション」では、100 名以上の起業家を支援しました。これらの実績から、平成 24 年度には、内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」の一環として、ふるさと東北の未来を創る「心の元気と自立」「地域の活力再生」雇用事業を実施し、被災地での就職を目指す方や起業を志す方の支援を行いました。

多様な実践現場を生きた教材として活用し、地域ビジネスや NPO マネジメントなどについて実践的に学びながら、自分の「仕事」そして「キャリア」を創造しませんか？



～講師プロフィール～



渡辺 豊博 (わたなべ とよひろ)

1950 年生まれ。東京農工大学農学部卒業。静岡県庁職員を経て、2008 年 4 月より都留文科大学文学部社会学科教授。1992 年、故郷・三島市の水辺環境改善を目的として、市民・NPO・行政・企業がパートナーシップを組む、英国で始まったグラウンドワーク（環境改善活動）を取り入れた NPO 法人グラウンドワーク三島を立ち上げ、現在専務理事を務める。著書に、「NPO実践講座」「環境共生の都市づくり」（ぎょうせい・共著）、「清流の街がよみがえった」（中央法規出版）、「英国発グラウンドワーク『新しい公共』を実現するために」（春風社・共著）、「富士山学への招待—NPOが富士山と地域を救う」「三島のジャンボさん ミスター・グラウンドワーク」「失敗しないNPO—グラウンドワーク三島の 20 年と英国に学ぶ—」（春風社・単著）、「共助社会の戦士たち—NPO・社会的企業 成功への処方箋」（静岡新聞社・単著）、「富士山の光と影」（清流出版・単著）などがある。



前川卓三 (まえかわ たくぞう)

大学卒業後大手紡績会社にて 12 年半勤務後、海外取引のベンチャー企業を立ち上げる。退職後は、グラウンドワーク三島「内閣府地域雇用創造事業」10 億円プロジェクトに参加。豊富なビジネス経験を活かして、200 人以上のビジネスプランの作成をサポート。その中から多くのビジネスコンペ受賞者を輩出した。特定非営利法人グラウンドワーク三島管理部長、社会企業大学副学長を経て、現在、早稲田大学公開講座講師、総務省「シニア地域人づくり」講師、グラウンドワーク三島起業アドバイザーを務める。



李東勲 (い どんふん)

石巻専修大学准教授・経営学博士。まちづくりというテーマに対し、マーケティングの観点からアプローチし、激変する環境にどう対処しながら「まち」を維持させるか、そのなかで商店街はどのような役割を果たすべきかについて研究。また、多国籍企業のマーケティング活動を多様な面から分析するとともに、中小企業におけるマーケティング戦略について考察し、経営資源が限られている中小企業の領域においてマーケティングを適用するための条件、及びその問題点についても研究を行う。さらに、商店街の復興にも、行政や地域 NPO と連携し、指導・助言を行っている。



笠松和市 (かさまつ かずいち)

上勝町役場職員として企画室長、参事兼総務課長などを歴任後、平成 13 年 4 月に徳島県上勝町長に就任。平成 26 年 3 月末退任。町長在任中に、葉っぱや花などを料理のつまものとして出荷する「彩事業」に携わり、過疎と高齢化に直面する四国で人口が一番少ない町を活性化させた。現在では、高齢者が生き生きと働く上勝町に魅かれ、地域ビジネスの起業を希望する I ターン移住が増加している。また、上勝町は、2003 年に「ごみゼロ宣言」を掲げ、「循環型社会」を地域に確立させるため様々な活動に取り組んでいる。